

参照先 DNS の設定変更方法

1、x-mon サーバにログインします。

x-mon サーバにキーボード、モニターを接続し、1,2 回ほど、エンターキーを入力すると下記のような文字列が表示されます。

```
CentOS Linux 7 (Core)  
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64  
  
x-mon login:
```

login の後に、ユーザ名「root」と入力します。

```
CentOS Linux 7 (Core)  
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64  
  
x-mon login: root  
Password: _
```

x-mon サーバにログイン出来れば、下記のような表示になります。

```
CentOS Linux 7 (Core)  
Kernel 3.10.0-514.21.1.el7.x86_64 on an x86_64  
  
x-mon login: root  
Password:  
Last login: Sun Jun 18 13:39:34 on tty1  
[root@x-mon ~]#
```

2、DNS の参照先の設定ファイルを vi で編集します。

vi /etc/resolv.conf

文字を入力する際には、「esc キー」を押し、キーボード「i キー」を押しますと、画面の左下に「-- INSERT --」もしくは「--挿入--」と表示されますので、下記の例のように「nameserver IP アドレス」を入力します。

入力後、「esc キー」を押し、「:wq」を入力し、エンターキーを押すことで設定ファイルを保存することが出来ます。

例 1) 参照先の DNS サーバが 192.168.0.1 の場合

```
nameserver 192.168.0.1
```

例 2) 参照先の DNS サーバが 192.168.0.1 と 192.168.0.2 の場合

```
nameserver 192.168.0.1
nameserver 192.168.0.2
```

3、下記のコマンドを発行し、参照先の DNS にて正しく名前解決が行われるか確認します。

```
# dig +short x-mon.jp
```



```
[root@x-mon ~]# dig +short x-mon.jp  
101.143.245.87
```

赤い円の箇所が「101.143.245.87」と表示されていれば、上記で設定した IP アドレスで正しく名前解決が行われた事になります。

上記のような表示ではなく、「connection timed out; no servers could be reached」とのメッセージが表示がされていた場合、名前解決が出来ない事を示すメッセージとなりますので参照先の DNS の設定内容に誤りがないか確認ください。

また、ネットワーク環境についてもファイアウォール等で制限をかけていないかなどネットワーク管理者に確認下さい。

設定変更手順は、以上となります。